

機能要件一覧表

No.	機能要件
1 システム機能	
(1) 利用者向け機能	
1	簡易検索と詳細検索ができること。
2	詳細検索では、コンテンツの種類、読み上げ可否、対応デバイス等による絞り込みができること。
3	検索語を入力しなくても検索ができること。
4	商用コンテンツ（国内出版物）の書誌情報には分類（NDC）が含まれていること。
5	商用コンテンツ（国内出版物）の書誌情報にカナ読みが含まれており、カナ検索が行えること。
6	カタカナとひらがなの正規化処理が行われており、どちらで検索しても検索結果は同じであること。
7	漢字の「国」と「國」等の新字・旧字の正規化処理が行われており、どちらの文字で検索してもヒットできること。業務検索も同様に検索できること。
8	ジャンル（分類等）による絞り込みができること。
9	ID・パスワードでログインすることで、貸出・閲覧・返却・予約ができること。
10	ライセンスフリーの独自資料はログイン不要で閲覧できること。
11	「借りる」ボタンを押すことにより、貸出手続きが完了すること。
12	貸出手続きが完了したらワンクリックで借りた書籍を閲覧できること。
13	貸出期間が過ぎたら自動的に返却されること。
14	貸出中の書籍は予約ができること。
15	用意できた電子書籍は一定期間「取り置き」状態が保持できること。
16	貸出の延長が行えること（延長を行わない設定もできること）。
17	利用者向けの詳細な日本語のオンラインマニュアルがあること。（困った時の対処法含む）
18	図書館からのお知らせを確認できること。
19	新着案内を閲覧できること。
20	貸出ランキングを閲覧できること。
21	特集を閲覧できること。
22	試し読みができること。（注1）
23	マイページ機能があり、貸出一覧、予約一覧を確認することができて、返却、貸出延長、予約取り消し、パスワード変更が行えること。
24	トップページの各種バナーから別サイトに移動できること。
(2) ビュワー機能	
25	書誌情報が確認できること。
26	目次を確認することができ、そこから該当する章へジャンプできること。（注1）
27	しおりを複数セットできること。設定したしおりにジャンプできること。（注1）
28	ハイライト及びメモを複数セットできること。また、ハイライトをセットしたページにジャンプできること。（注1）
29	しおりとハイライトは書籍を返却するまで状態を保持できること。返却されると状態がクリアされること。
30	リフロー型コンテンツは自動ページ送りができること。また、送り時間を設定できること。
31	リフロー型コンテンツは文字の大きさを変更できること。（注1）
32	リフロー型コンテンツは縦書き・横書き表示の切り替えが行えること。（注1）
33	リフロー型コンテンツはパソコン（Windows、Mac）、スマートフォン・タブレット（iOS、Android）で本文の音声読み上げが行えること。（注1） また、読み上げ機能は電子図書館利用登録者なら誰でも利用可能であること。
34	リフロー型コンテンツは読み上げのスピードが変更できること。（注1）
35	リフロー型コンテンツは本文検索が行えること。（注1）
36	フィックス型コンテンツは横スクロール・縦スクロールの切り替えができること。
37	フィックス型コンテンツは誌面全体の拡大表示が行えること。
38	フィックス型コンテンツは拡大表示のままページ送りが行えること。
39	書籍中の任意のページに移動できること。
40	書籍を閉じて、再度読む場合は閉じたページが開かれること。（注1）
(3) 管理機能	
41	利用者登録機能があること。
42	利用者権限の設定が行えること。権限により利用機能を制限できること。
43	閲覧制限された資料を読むことができるIDを登録できること。
44	CSVやエクセルなどによる利用者一括登録ができること。

No.	機能要件
45	利用者情報の変更・削除が行えること。
46	図書館側で任意のID・パスワードが登録できること。
47	利用者の貸出状況、予約状況が確認できること。
48	購入コンテンツの公開開始日になったら自動で利用者画面に公開されること。
49	図書館側で独自資料を登録できること。ファイルフォーマットは、EPUB3（注2）、PDF、MP4、MP3等多様なフォーマットに対応していること。
50	独自資料は図書扱い、雑誌扱いの登録が行えること。
51	独自資料の一括登録が行えること。
52	独自資料の変更、削除が行えること。
53	図書館からのお知らせの登録、変更、削除が行えること。お知らせはトップページに複数表示できること。最新のお知らせには最新であることが分かるマーク等が表記されていること。任意のお知らせを最上部に表示する等の方法で見やすい位置に固定した表示ができること。
54	新着案内の表示順の変更、削除が行えること。
55	特集の登録、変更、削除が行えること。
56	ジャンルの登録、変更、削除が行えること。
57	トップページに表示するリンクバナーを複数登録できること。
58	各種統計を集計することができ、CSVファイル出力が行えること。
59	貸出統計と閲覧統計ができること。閲覧統計は貸出回数に関わらず資料が閲覧された回数を用いることができること。
60	利用者情報に生誕年・性別を登録することにより、年代別・男女別統計が行えること。
61	日本十進分類による分類別統計ができること。
62	実利用者統計ができること。
63	詳細な管理者向け日本語マニュアルを用意すること。
64	商用コンテンツ（国内出版物）の選書・発注が容易にできる機能があること。
65	売上ランキングが表示できること。
66	日本十進分類による検索ができること。
67	底本ISBN、タイトル、著者、出版社、シリーズ名、キーワードで検索できること。
68	カナ検索が可能であること。
69	オンラインでコンテンツ購入が可能なこと。
2 コンテンツの提供	
70	図書館向けとして出版社から許諾済の電子書籍が提供できること。
71	買い切り型、期間限定型等様々なライセンス形態のコンテンツを提供できること。
72	リフロー型、フィックス型のコンテンツが提供できること。
73	オーディオブックが提供できること。
74	洋書を提供できること。
75	児童向けの読み放題のコンテンツを提供できること。
76	電子雑誌閲覧サービスが提供できること。

注1：コンテンツタイプ、出版社の許諾、コンテンツ作成状態等により利用できないコンテンツについては、機能要件の対象から除く。

注2：一般社団法人日本電子書籍出版社協会EPUB日本語基準研究グループ「EPUB3日本語ベーシック」準